

総務教育常任委員会資料

(平成29年5月19日)

【件名】

- ・ 鳥取市の中核市移行に係る調整状況について（教育総務課）…………… 1
- ・ 平成30年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について
（教育人材開発課）…………… 2
- ・ 平成29年3月新規高等学校卒業者の就職決定状況について（高等学校課）…… 5
- ・ 学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について（体育保健課）……… 7

教育委員会



鳥取市の中核市移行に係る調整状況について

平成29年5月19日

地 域 振 興 課
福 祉 立 保 健 課
環 境 育 立 保 健 推 進 課
教 育 立 保 健 推 進 課
行 政 改 革 局 人 事 企 画 課

鳥取市の中核市移行に向け、現在の市との調整状況について報告します。

1 円滑な事務引継

事務事業ごとに、県の移行支援プロジェクトチーム及び市の部会において事務マニュアルや引継書、予算要求等に係る資料などをもとに事務引継ぎを行っている。

さらに、市における例規整備や附属機関の設置等に係る基準の摺合せや事務執行に活用する市のシステム整備に係る県との連携・引継などの具体の調整を進めている。

2 保健所業務の移管・委託

鳥取市が中核市に移行し保健所を設置した場合、東部4町域の保健所業務を市に委託する方針で、市の区域と東部4町の区域の保健所業務を円滑かつ確実に引き継ぐことができるよう調整を進めている。

(1) 保健所移行実践検討チーム・ワーキンググループ（平成29年4月13日設置）

4月26日に第1回チーム会議を開催し、市と県の事務の差違等も考慮し、市における事務の流れや県の中部西部圏域の保健所との業務連携等も踏まえた実践研修・訓練等の計画を8分野のワーキンググループにおいて作成することを決定した。

当該計画に基づき、5月下旬からの実践研修等の実施を予定している。

(2) 東部4町区域に係る保健所業務の県から市への委託（中核市移行の政令公布後を予定）

地方自治法第252条の14の規定により、市との協議により規約を定め、市に管理執行を委託する。県と市の協議にあたっては両議会の議決を必要とする。

〔規約に掲げる事項〕

- ・委託事務の範囲並びに委託事務の管理及び執行の方法
- ・委託事務に要する経費の支弁方法 等

3 市の組織・人員体制の検討状況

鳥取市では、県の事務処理体制を引き継ぐことを基本とし、平成30年4月の移行時に約75名（正職員）の増員配置を予定している。このうち、県は約50名の職員の派遣などを行う。

県は、中核市移行後、市において必要人員を独自に確保されるまでの間は、行政サービス水準を維持継続するため、県から職員派遣など必要な支援を行う。

(1) 人材育成

平成28年度から市職員の長期研修を県の東部福祉保健事務所及び東部生活環境事務所において実施するとともに、短期の業務研修等も行いながら、業務への習熟を進めている。

- ・長期派遣 平成28年度 1名（保健師）
（県受入） 平成29年度 8名（保健師、管理栄養士、事務職）

(2) 職員採用

平成30年4月に向けて、市は、平成28年度までに7名（保健師2名、事務職5名）、平成29年度中に13名（保健師、管理栄養士、歯科衛生士、衛生技師、事務職）の職員採用を予定しており、計画的に必要な人数の確保を進めている。

4 今後の主な予定

- ・5月下旬 第2回保健所移行実践検討チーム会議
- ・6月上旬 第8回鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会
- ・6月定例県議会 「中核市指定に係る申出の同意」議案を提出

平成30年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について

平成29年5月19日
教育人材開発課

項 目	平成30年度選考試験	平成29年度選考試験
実施要項等の交付 及び出願期間	平成29年5月11日（木）から 平成29年6月1日（木）まで	平成28年5月12日（木）から 平成28年6月2日（木）まで
試 験 期 日	〔一次試験〕 平成29年7月15日（土）・16日（日） 〔二次試験〕 小・中・特別支援学校教諭 養護教諭 平成29年9月11日（月）～14日（木） 高等学校教諭 平成29年9月15日（金）・16日（土）	〔一次試験〕 平成28年7月16日（土）・17日（日） 〔二次試験〕 小・中・特別支援学校教諭 養護教諭 平成28年9月12日（月）～15日（木） 高等学校教諭 平成28年9月16日（金）・17日（土）
受 験 資 格 (年齢要件)	50歳未満 (平成30年4月1日現在)	50歳未満 (平成29年4月1日現在)
英語に関する 有資格者への 加点	[小学校教諭、特別支援学校教諭] ○資格の基準 ①・ <u>実用英語技能検定準1級以上</u> ・ <u>TOEFL iBT 80点以上</u> <u>PBT550点以上</u> ・ <u>TOEIC 730点以上</u> ②・実用英語技能検定2級 ・ <u>TOEFL iBT 42点以上</u> <u>PBT440点以上</u> ・ <u>TOEIC 550点以上</u> ○加点内容	○対象試験区分 小学校教諭、特別支援学校教諭 ○資格の基準 ・実用英語技能検定2級以上 ・ <u>TOEFL iBT 42点以上</u> <u>PBT440点以上</u> ・ <u>TOEIC 550点以上</u> ○加点内容 第一次選考試験の筆記試験の合計 点に、10点加点する
英語に関する 上位資格保有 者に対する加 点の設定を追 加	①の場合に第一次選考試験の筆記試 験の合計点に、20点加点する ②の場合に第一次選考試験の筆記試 験の合計点に、10点加点する [中学校・高等学校教諭（英語）] ○加点内容 <u>上記①の場合に第一次選考試験の筆 記試験の合計点に、20点加点する</u>	
採用予定数	小学校教諭 85人程度 中学校教諭 44人程度 高等学校教諭 10人程度 特別支援学校教諭 20人程度 養護教諭 13人程度 計 172人程度	小学校教諭 85人程度 中学校教諭 44人程度 高等学校教諭 8人程度 特別支援学校教諭 20人程度 養護教諭 13人程度 計 170人程度

項 目	平成30年度選考試験	平成29年度選考試験
特 徴	<p>【加点】</p> <p>○英語に関する上位資格保有者に対する加点の設定の追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動や今後の英語の教科化に対応するため ・中学校・高等学校教諭の実用英語技能検定準1級以上の受験者を確保するため <p>【全体】</p> <p>○小学校、中学校及び特別支援学校教諭については近年の採用予定数を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再任用職員の増加や学校統廃合もあるが、今後も一定の退職者数が見込まれるため <p>○高等学校教諭の採用予定数は、二桁の数を採用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職者のある教科に対応するため ・再任用職員の増加が見込まれるが、優秀な人材を確保しておくため 	<p>【試験区分】</p> <p>○中学校・高等学校教諭共通の廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校種毎に求める人材像を整理し、専門試験の出題範囲、選考試験の内容、特例措置に反映させることで、優秀な人材を確保するため <p>【加点】</p> <p>○英語に関する有資格者に対して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動や今後の英語の教科化に対応するため <p>○複数免許状所有者に対して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携、小中一貫教育の充実に向け、校種を超えて指導できる者を小学校・中学校で確保するため <p>【特別選考】</p> <p>○スポーツ・芸術の分野で秀でた者を対象とした選考の受験資格を明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際的・全国的な大会」の基準を明確にすることで透明性の向上を図るため ・直近の10年以内における成績のみを対象とし、適正な選考試験事務を確保するため <p>【試験内容】</p> <p>○全試験区分で、第一次選考試験で集団討議を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の発見・解決に向けた主体的 ・協働的な学習（いわゆるアクティブ・ラーニング）等の推進に資する人材を確保するため <p>【全体】</p> <p>○小学校、中学校及び特別支援学校教諭については近年の採用予定数を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再任用職員の増加や学校統廃合もあるが、今後も一定の退職者数が見込まれるため <p>○高等学校教諭の採用予定数は、少数で推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が減少するため ・再任用職員の増加が見込まれるため

<参考>

その他の特別選考及び特例等

ア 身体に障がいのある者を対象とした選考

- ・身体障害者手帳の被交付者（1級～6級）
 - ・障がいの程度に応じて一次試験の技能・実技試験の一部若しくは全部免除又は振替を行う
 - ・各試験区分の採用予定数に含む
- ※採用予定数の内、小・中学校教諭3人程度、特別支援学校教諭2人程度

イ スポーツ・芸術の分野で秀でた者を対象とした選考

- ・平成19年4月1日以降（高等学校卒業後に限る）
- ・スポーツの分野において、国際的な大会（オリンピック、パラリンピック、ユニバーシアード大会、世界選手権大会、アジア大会、及びこれらと同等の国際的な規模の大会）に日本代表として出場した者若しくは全国的な大会（国民体育大会、全日選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれらと同等の全国的な規模の大会）でベスト4以上に入賞した者
- ・芸術の分野において、国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者

ウ 現職教諭を対象とした選考

- ・本県以外で3年以上公立又は国立大学法人が設置する学校に教諭又は養護教諭として正式に採用され、現在も志願する試験区分に勤務している者
- ・すべての試験区分
- ・小学校・中学校・特別支援学校教諭、養護教諭は、一次試験における筆記試験、技能・実技試験及び集団討議を免除
- ・高等学校教諭は、一次試験における一般教養・教職教養試験、集団討議及び面接試験を免除
- ・各試験区分の採用予定数に含む

エ 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考

- ・教諭普通免許状を所有していないが、民間企業、官公庁（教育関係機関を除く）等に正職員として5年以上の実務経験を有する者
- ・高等学校教諭の農業、工業（電気・電子）、商業が対象試験区分
- ・対象試験区分の採用予定数に含む

オ 複数免許状所有者への加点

- ・小学校教諭、中学校教諭が対象試験区分
 - ・小学校教諭志願者で中学校教諭普通免許状所有者又は中学校教諭志願者で小学校教諭普通免許状所有者に対して、第一次選考試験の筆記試験の合計点に10点加点
- ※免許状取得見込みの者は対象としない

カ 大学院進学希望者及び大学院修学継続希望者への特例

- ・平成30年度に国内の大学院に進学する者
- ・平成32年度採用候補者名簿に登載し、公立学校の教員として正式に採用
- ・平成29年度に国内の大学院（教職大学院を含む）で在学中の者において、修了予定年度により、平成31年度採用候補者名簿又は平成32年度採用候補者名簿に登載し、公立学校の教員として正式に採用
- ・各試験区分の採用予定数に含む

平成29年3月新規高等学校卒業者の就職決定状況について

平成29年5月19日
高等学校課

1 厚生労働省の基準による調査

全日制高等学校、定時制高等学校、特別支援学校高等部及び米子北高等学校看護専攻科において、平成29年3月卒業者のうち公共職業安定所または学校を通して求職している者のみを対象とした調査。

2 求職者の状況

- ・求職者数は1,139人で、前年同期(1,140人)に比べ0.1%、実数で1人の減少。
- ・卒業者に占める求職者の割合(就職希望率)は22.6%で、前年同期(22.5%)に比べ0.1ポイント上回る。

年月	卒業者数(人)			求職者数(人)			就職希望率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成29年3月末	5,045	2,569	2,476	1,139	675	464	22.6	26.3	18.7
平成28年3月末	5,060	2,552	2,508	1,140	675	465	22.5	26.4	18.5

- ・県内就職を希望する求職者は916人で、前年同期(929人)に比べ1.4%、実数で13人の減少。
- ・求職者全数に占める県内就職を希望する求職者の割合は80.4%で、前年同期(81.5%)に比べ1.1ポイント下回る。

年月	県内就職を希望する求職者(人)				県内就職希望率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成29年3月末	916	343	181	392	80.4	90.3	81.2	73.1
平成28年3月末	929	348	174	407	81.5	85.5	79.8	79.0

【参考】求職者数(県内・県外)の推移

年月	求職者数(人)			求職者の構成比(%)	
	計	県内	県外	県内	県外
平成29年3月末	1,139	916	223	80.4	19.6
平成28年3月末	1,140	929	211	81.5	18.5
平成27年3月末	1,201	960	241	79.9	20.1
平成26年3月末	1,129	950	179	84.1	15.9

3 求人状況

- ・県内求人数は1,905人で、前年同期(1,708人)に比べ11.5%、実数で197人の増加。
(平成11年3月末の2,263人以来の高水準)
- ・県内求人の求人倍率は1.67倍で、前年同期(1.50倍)に比べ0.17ポイント上回る。
(平成7年3月末以降最高を記録)

年月	県内求人数(人)	求人倍率(倍)
平成29年3月末	1,905	1.67
平成28年3月末	1,708	1.50

*求人倍率は、県内求人数を求職者全数で割ったもの。

4 就職内定者の状況

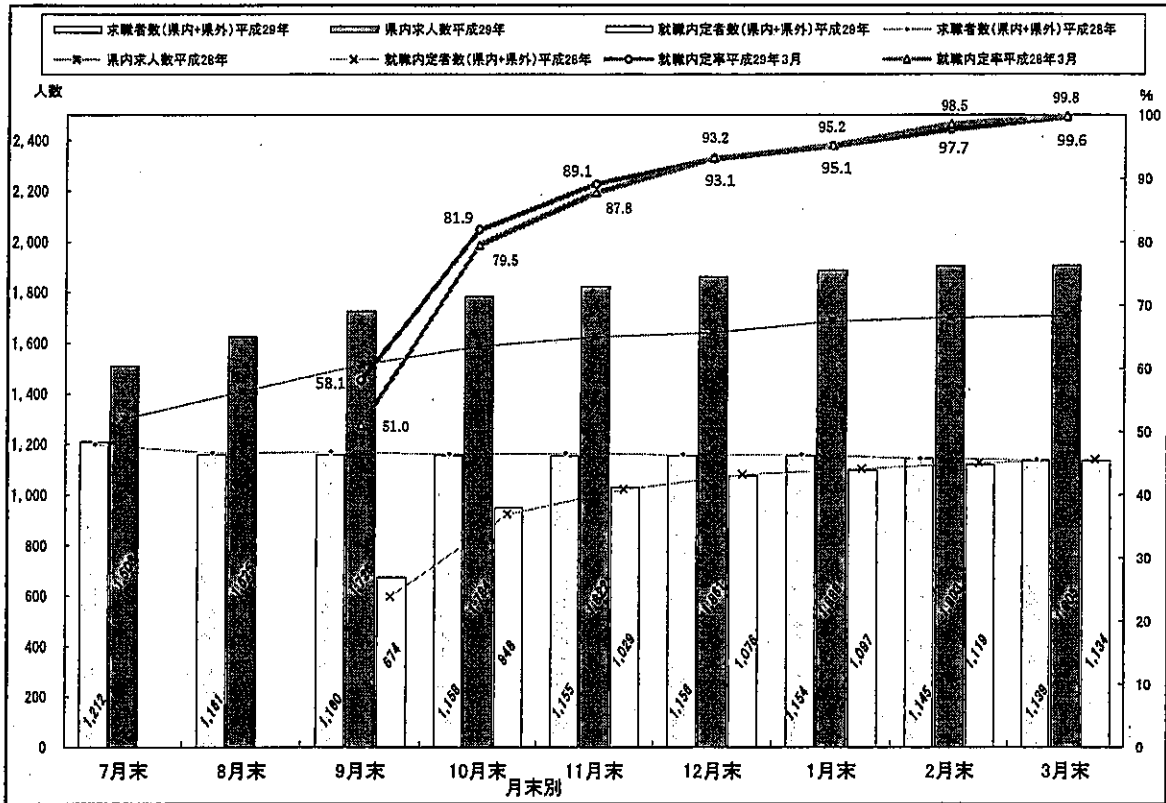
- ・就職内定者数は1,134人で、前年同期(1,138人)に比べ0.4%、実数で4人の減少。
- ・就職内定率は99.6%で、前年同期(99.8%)に比べ0.2ポイント下回る。

年月	就職内定者数(人)				就職内定率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成29年3月末	1,134	379	223	532	99.6	99.7	100.0	99.3
平成28年3月末	1,138	407	218	513	99.8	100.0	100.0	99.6

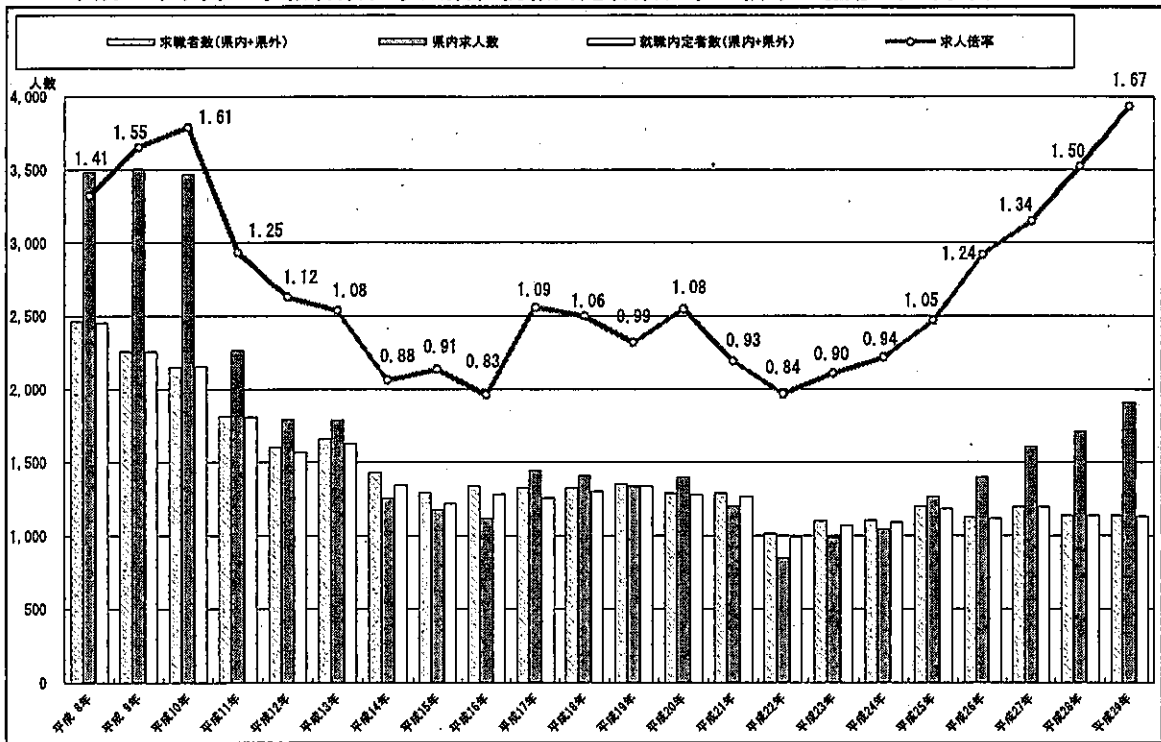
- ・県内就職を希望する求職者の就職内定率は99.5%で、前年同期に比べ0.3ポイント下回る。

年月	県内・県外別、地域別就職内定率(%)											
	計	県内		東部		中部		西部		県外		
平成29年3月末	99.6	99.5	100.0	99.7	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3	99.0	100.0
平成28年3月末	99.8	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6	99.5	100.0

5 平成29年3月新規高等学校卒業者の就職内定率等の推移



6 平成8年以降の求職者数、求人数、就職内定者数、求人倍率の推移（3月末）



以上のデータは、鳥取労働局職業安定部による

学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について

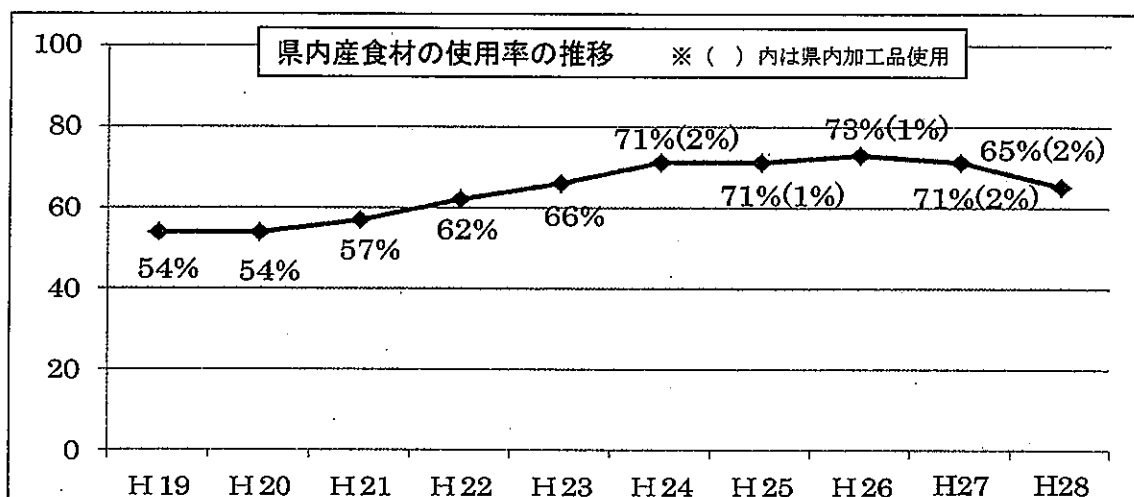
平成29年5月19日
体 育 保 健 課

1 県内産食材の使用状況

(1) 学校給食用食材の生産地別使用状況調査結果

平成28年度の県内産食材の使用率は65%（うち県内加工品使用率は2%）であった。また、調査対象44品目のうち、県内産使用率100%の食材は14品目であった。

県産品使用率が減少した理由としては、天候不順等による野菜類の不作や、学校給食に適した規格の魚介類の不漁等があげられる。（市町村ごと、品目ごとの状況は別添資料のとおり）



(2) 調査対象44品目以外の県内産食材の活用事例

- 中海の海藻堆肥を使用して栽培された海藻米の使用（境港市）
- 地域生産者が栽培した野菜類や加工品の使用（小松菜、チンゲンサイ、ピーマン、にんにく、こんにゃく、ケチャップ等）
- 休耕田を活用して養殖されたホンモロコの使用
- 泊漁港で養殖されたワカメの使用、東郷湖で収穫されたシジミの使用（湯梨浜町）
- ジビエ（シカ肉、イノシシ肉）の活用（八頭町、智頭町、若桜町、南部町）

(3) その他

平成28年度の米飯給食の週当たりの県内平均実施回数は、4.1回であった。（H27年度全国平均は3.4回）

2 平成28年度の主な取組

- 学校給食関係者、関係機関を対象とした県産品利用（地産地消）推進会議の開催（6/3）
- 栄養教諭等を対象とした地場産物を活用した学校給食調理講習会を開催（12/1）
- 給食時間の指導等に活用するための食育教材パネルを作成
- 食育の日（毎月19日）、食育月間、とっとり県民の日、全国学校給食週間等の取組を通じ、県内産食材を活用した学校給食の提供と、献立を活用した食に関する指導を推進

3 今後の取組

- 県内産食材活用に関する情報の共有を図り、使用率の維持及び向上を図る。
- 身近な地域の産業や食文化への理解を深め、郷土を大切に作る心を育むよう、県内産食材を活用した食に関する指導の充実を図る。

平成28年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査(市町村別)

米、麦、牛乳を除く主な使用食材44品目の使用実態を使用量の割合でまとめたものである。

平成28年度合計

区分	県産品利用								その他				計	
	<地産地消> ①県内産(原材料)		県内加工				県産品利用計		④国内産(原材料)		⑤外国産(原材料)			
	使用量(kg)	使用比率	②原材料:国内産		③原材料:外国産		使用量(kg)	使用比率	使用量(kg)	使用比率	使用量(kg)	使用比率		
			使用量(kg)	使用比率	使用量(kg)	使用比率								
鳥取市	旧鳥取市	215,652	60%	0	0%	7,554	2%	223,206	62%	136,104	38%	0	0%	359,310
	国府	22,933	71%	2,117	7%	0	0%	25,050	77%	7,322	23%	0	0%	32,372
	河原	24,532	87%	0	0%	313	1%	24,845	88%	3,369	12%	0	0%	28,213
	気高	19,253	78%	61	0%	92	0%	19,406	78%	5,340	22%	0	0%	24,746
	鹿野	7,234	82%	0	0%	0	0%	7,234	82%	1,589	18%	0	0%	8,823
	青谷	9,721	81%	0	0%	326	3%	10,048	84%	1,900	16%	0	0%	11,948
	合計	299,326	64%	2,177	0%	8,285	2%	309,787	67%	155,625	33%	0	0%	465,412
米子市	153,598	48%	0	0%	0	0%	153,598	48%	162,295	51%	857	0%	316,750	
倉吉市	42,924	60%	0	0%	2,078	3%	45,002	63%	26,271	37%	164	0%	71,437	
境港市	35,765	42%	11,453	14%	0	0%	47,219	56%	37,082	44%	0	0%	84,301	
八頭町	29,046	71%	1,015	2%	8	0%	30,069	74%	10,709	26%	0	0%	40,778	
智頭町	11,603	83%	0	0%	553	4%	12,156	87%	1,781	13%	0	0%	13,937	
岩美町	17,651	66%	141	1%	533	2%	18,325	69%	8,332	31%	0	0%	26,657	
若桜町	4,727	84%	0	0%	152	3%	4,879	87%	749	13%	0	0%	5,628	
湯梨浜町	羽合	24,724	84%	0	0%	198	1%	24,922	84%	4,650	16%	0	0%	29,572
	泊	2,630	79%	0	0%	133	4%	2,763	83%	580	17%	0	0%	3,343
	粟郷	9,966	74%	1,096	8%	71	1%	11,133	82%	2,382	18%	8	0%	13,523
	合計	37,320	80%	1,096	2%	402	1%	38,818	84%	7,612	16%	8	0%	46,438
三朝町	19,577	91%	0	0%	115	1%	19,692	91%	1,903	9%	9.3	0%	21,604	
北栄町	40,249	94%	0	0%	232	1%	40,481	95%	2,118	5%	0	0%	42,599	
琴浦町	28,915	74%	144	0%	63	0%	29,122	75%	9,580	25%	115.8	0%	38,818	
大山町	中山	7,927	75%	0	0%	0	0%	7,927	75%	2,678	25%	18	0%	10,623
	名和	11,144	75%	0	0%	0	0%	11,144	75%	3,673	25%	0	0%	14,817
	大山	13,548	79%	0	0%	0	0%	13,548	79%	3,567	21%	0	0%	17,115
	合計	32,619	77%	0	0%	0	0%	32,619	77%	9,918	23%	18	0%	42,555
日吉津村	4,713	88%	0	0%	0	0%	4,713	88%	662	12%	0	0%	5,375	
伯耆町	23,181	87%	0	0%	0	0%	23,181	87%	3,603	13%	0	0%	26,784	
南部町	西伯	14,172	80%	12	0%	0	0%	14,183	80%	3,621	20%	0	0%	17,804
	全見	8,228	83%	0	0%	0	0%	8,228	83%	1,630	17%	8	0%	9,866
	合計	22,399	81%	12	0%	0	0%	22,411	81%	5,251	19%	8	0%	27,670
江府町	3,843	75%	27	1%	6	0%	3,876	76%	1,249	24%	0	0%	5,125	
日野町	3,680	67%	0	0%	0	0%	3,680	67%	1,793	33%	14.2	0%	5,487	
日南町	5,481	67%	0	0%	456	6%	5,937	73%	2,188	27%	23	0%	8,148	
総合計	816,618	63%	16,065	1%	12,882	1%	845,565	65%	448,720	35%	1,217	0%	1,295,502	

県産品利用計 (①+②+③)	使用量(kg)	845,565	使用比率	65%
-------------------	---------	---------	------	-----

*個々のデータを四捨五入で入力しているため、合計が100%にならない場合や合計値に若干誤差が生じる場合があります。

平成28年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査

市町村 平成28年度合計

区分	県産品利用								その他				計	
	<地産地消> ①県内産(原材料)		県内加工				県産品利用計		④国内産(原材料)		⑤外国産(原材料)			
	使用量(kg)	使用比率(%)	②原材料:国内産	③原材料:外国産	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)		
野菜類等	大根	57,852	65%	51	0%	0	0%	57,902	65%	31,300	35%	0	0%	89,203
	にんじん	28,586	25%	18	0%	0	0%	28,603	25%	85,891	75%	0	0%	114,495
	白菜	32,318	63%	0	0%	0	0%	32,318	63%	19,338	37%	0	0%	51,656
	キャベツ	64,089	45%	33	0%	0	0%	64,122	45%	79,629	55%	0	0%	143,751
	ほうれん草	17,904	65%	60	0%	0	0%	17,964	65%	9,744	35%	0	0%	27,708
	ネギ	8,771	55%	4	0%	0	0%	8,775	55%	7,169	45%	0	0%	15,943
	白ネギ	33,625	100%	0	0%	0	0%	33,625	100%	94	0%	0	0%	33,719
	きゅうり	25,361	60%	37	0%	0	0%	25,397	61%	16,572	39%	0	0%	41,970
	トマト	6,254	78%	0	0%	0	0%	6,254	78%	1,733	22%	0	0%	7,987
	じゃがいも	35,990	46%	474	1%	0	0%	36,464	46%	42,502	54%	8	0%	78,974
	さといも	17,187	95%	0	0%	0	0%	17,187	95%	883	5%	0	0%	18,070
	さつまいも	18,509	72%	33	0%	0	0%	18,542	72%	7,109	28%	0	0%	25,651
	たまねぎ	73,346	42%	1,422	1%	0	0%	74,768	43%	101,122	57%	0	0%	175,890
	かぼちゃ	8,906	78%	1	0%	0	0%	8,907	78%	2,282	20%	303	3%	11,491
	ブロッコリー	17,123	88%	11	0%	6	0%	17,140	88%	2,316	12%	0	0%	19,456
	ながいも	9,031	96%	0	0%	0	0%	9,031	96%	422	4%	0	0%	9,452
	たけのこ	11,824	99%	171	1%	0	0%	11,995	100%	0	0%	0	0%	11,995
小計	466,673	53%	2,313	0%	6	0%	468,993	53%	408,107	47%	310	0%	877,410	
果物	りんご	3,061	71%	1	0%	0	0%	3,062	71%	1,258	29%	0	0%	4,319
	なし	9,445	100%	13	0%	0	0%	9,458	100%	0	0%	0	0%	9,458
	柿	2,812	100%	0	0%	0	0%	2,812	100%	3	0%	0	0%	2,815
	ぶどう	643	100%	0	0%	0	0%	643	100%	0	0%	0	0%	643
	みかん	22	2%	0	0%	0	0%	22	2%	1,087	98%	0	0%	1,109
	メロン	2,217	100%	0	0%	0	0%	2,217	100%	0	0%	0	0%	2,217
	いちご	734	83%	0	0%	0	0%	734	83%	149	17%	0	0%	883
	小計	18,934	88%	14	0%	0	0%	18,948	88%	2,487	12%	0	0%	21,445
魚介類	トビウオ	3,548	99%	0	0%	0	0%	3,548	99%	32	1%	0	0%	3,580
	カレイ	8,407	100%	0	0%	0	0%	8,407	100%	26	0%	0	0%	8,434
	イカ	7,414	81%	265	3%	0	0%	7,679	84%	1,472	16%	0	0%	9,151
	アジ	16,087	97%	100	1%	400	2%	16,586	100%	44	0%	0	0%	16,630
	白ハタ	5,382	100%	0	0%	0	0%	5,382	100%	0	0%	0	0%	5,382
	小計	40,838	95%	365	1%	400	1%	41,602	96%	1,574	4%	0	0%	43,177
豆類	大豆	7,530	94%	139	2%	0	0%	7,669	96%	340	4%	0	0%	8,009
	豆腐	39,598	81%	305	1%	6,000	12%	45,903	94%	2,912	6%	17	0%	48,832
	油揚げ	5,551	66%	25	0%	2,611	31%	8,187	98%	73	1%	116	1%	8,375
	みそ	24,899	99%	219	1%	24	0%	25,141	100%	17	0%	0	0%	25,158
	おから	1,606	79%	12	1%	422	21%	2,039	100%	0	0%	0	0%	2,039
	小計	79,183	86%	699	1%	9,057	10%	88,939	96%	3,342	4%	133	0%	92,414
食肉類	牛肉(含ミンチ)	20,836	79%	3,037	11%	0	0%	23,873	90%	2,639	10%	0	0%	26,512
	豚肉(含ミンチ)	59,926	86%	3,509	5%	92	0%	63,526	91%	6,029	9%	164	0%	69,719
	鶏肉(含ミンチ)	61,344	74%	4,586	6%	0	0%	65,930	79%	16,487	20%	602	1%	83,019
	小計	142,106	79%	11,132	6%	92	0%	153,330	86%	25,154	14%	766	0%	179,250
キノコ類	えのき	10,988	74%	0	0%	0	0%	10,988	74%	3,937	26%	0	0%	14,925
	しいたけ(生)	1,038	94%	0	0%	0	0%	1,038	94%	66	6%	0	0%	1,103
	干し椎茸	1,027	100%	0	0%	0	0%	1,027	100%	2	0%	0	0%	1,029
	なめこ	2,298	75%	0	0%	0	0%	2,298	75%	776	25%	8	0%	3,082
	小計	15,350	76%	0	0%	0	0%	15,350	76%	4,781	24%	8	0%	20,139
その他	鶏卵	13,723	80%	141	1%	0	0%	13,864	81%	3,265	19%	0	0%	17,128
	煮干し	5,989	97%	181	3%	0	0%	6,170	100%	1	0%	0	0%	6,171
	しょうゆ	33,822	88%	1,219	3%	3,327	9%	38,368	100%	0	0%	0	0%	38,368
	小計	53,534	87%	1,541	2%	3,327	5%	58,402	95%	3,266	5%	0	0%	61,668
合計	816,618	63%	16,065	1%	12,882	1%	845,565	65%	448,720	35%	1,217	0%	1,295,502	

県産品利用 計(①+②+③)	使用量(kg)	845,565	使用比率(%)	65%
----------------	---------	---------	---------	-----

